

様式 F - 7 - 2

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実績報告書（研究実績報告書）

所属研究機関名称		大妻女子大学	機関番号	32604
研究代表者	部局	その他部局		
	職	学長		
	氏名	伊藤 正直		

1. 研究種目名 基盤研究(C) (一般) 2. 課題番号 15K03583

3. 研究課題名 1960年代のG10とOECD/WP3

4. 補助事業期間 平成27年度～平成29年度

5. 研究実績の概要

平成28年度実施予定であったが、先方の事情等により延期となっていたアメリカ公文書館での補足調査を平成29年8月に実施し、公文書館職員の積極的支援もあって、平成28年8月に収集したBIS資料と、以前収集していた公文書館所蔵のRG56資料の不整合を解消することができた。また、平成29年8月、テキサス州オースチンのテキサス大学L.B.J.Libraryにおいて、1960年代後半ジョンソン政権下において国際金融事項を担当していたファウラー財務長官関連文書、デミング財務次官関連文書の閲覧・収集が可能となり、当該期のアメリカ政府内部における対外金融政策、とくに財務省の認識と政策対応に関する一次資料を新たに発見することができた。

平成29年8月のこのアメリカ調査により、1960年代後半におけるアメリカ政府内部における国際金融制度についての政策的認識の推移を実証的に確認することができ、OECD/WP3やG10での議論におけるアメリカとヨーロッパ諸国の対立の根拠やヨーロッパ諸国内部における国際金融システムのワーキング・メカニズムについての認識の差異、具体的には、オソラグループ、トリフィン・グループ、エミンガー・ドイツペンデスバンク、BOEなどの認識とアメリカ政府の認識の差異がいかに全体の政策決定に反映していったかを、従来にない実証密度で明らかにすることができた。

この結果、本研究の目的である1970年代に比して相対的に未解明であり、政策決定過程がブラックボックスとなっていた1960年代の国際金融政策の決定過程が、その決定主体である公的なIMF、BIS、実質的にその決定を準備したOECD/WP3、G10、主要国の金融政策決定機関という重層的構造において解明することができた。

6. キーワード

国際金融機関 国際金融市場 IMF OECD/WP3 BIS G10

7. 研究発表

〔雑誌論文〕 計2件（うち査読付論文 2件／うち国際共著 0件／うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 伊藤正直	4. 巻 40
2. 論文標題 高橋財政をめぐる論点整理	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『金融経済研究』	6. 最初と最後の頁 66～70
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

2版

1. 著者名 伊藤正直・大貫摩里・森田泰子	4. 巻 2018 - J5
2. 論文標題 1990年代における金融政策運営について	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 IMES-DPS	6. 最初と最後の頁 1～91
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計2件

1. 著者名 証券経済学会/日本証券経済研究所（伊藤正直他）	4. 発行年 2017年
2. 出版社 きんざい	5. 総ページ数 1020ページ
3. 書名 『証券事典』	

1. 著者名 財務省財務総合政策研究所財政史室編（伊藤正直・浅井良夫・桜井敬子）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 大蔵財務協会	5. 総ページ数 800ページ
3. 書名 『平成財政史 平成元～12年度 11資料(4) 国際金融・対外関係事項 関税行政』	

8. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

計0件（うち出願0件 / うち取得0件）

9. 科研費を使用して開催した国際研究集会

計0件

10. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

-

11. 備考

-